

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
理科	生物	3	4	選択

到達目標	生物や生物現象に対する探究心を深め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	第2部 生命現象と物質 第6章 代謝 第3部 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝現象と物質	2年生で学んだ代謝に関わるエネルギーの移動についてさらに深く学びます。また、遺伝子の本体である DNA の構造、遺伝情報が受け継がれるしくみを学んでいきましょう。	
1学期期末	第8章 発生と遺伝子の発現 第9章 バイオテクノロジー	1つの受精卵からどのようなしくみで個体が形成されるのでしょうか？また、実社会に生命現象がどのように活用されているか、学んでいきます。	
2学期中間	第4部 第10章 刺激の受容と反応 第11章 動物の行動 第12章 植物の環境応答	生物は環境の変化を感知し反応します。動物や植物がどのような環境応答をしているのか、受容器や神経系のしくみを理解し、実際の動物や植物について考えてみましょう。	
2学期期末	第5部 第13章 個体群と生物群集 第14章 生態系	多様な生物が影響しあって成り立っている生物群集を学び、さらに視点を広げて、環境も含めた「生態系」について考えます。生態系の保全がなぜ重要なのでしょうか？	
学年末	まとめと思考学習 (問題演習)	これまで生物で勉強してきたことのまとめと、学んできた情報を活用して考える思考学習、入試対策の問題演習などを行います。	

評価方法と	知識・技能・・・定期考査等
評価のポイント	思考・判断・表現・・・定期考査等 主体的に学習に取り組む態度・・・提出物、小テスト等

教科からのアドバイス

4単位の授業なので、進む速度は速いと思ってください。授業内容をしっかり理解し、次の単元に進んだときについてこられないことがないようにしてください。そのためにも、日頃の予習・復習（問題集を解くなど）、そして授業を集中して聴くことを心がけましょう。